

新たな学校生活が始まりました。子どもたちが学級の中でありのままの自分を表現し、笑顔に満ちあふれた学級・学校生活を送ることができるようにしたいものです。入学式後の出会い、学級替え後の出会い、同じ子どもたちとの再会。いずれもゼロからのスタートという新しい気持ちで、明るくさわやかな出会いを大切にしていきたいと思います。



<小学校>

子ども一人一人をとらえた学級づくり
～まずは子どもたちの実態把握から～

新学期のスタートです。環境が変わり、子どもたちも緊張した日々を過ごしています。休み時間、ぼつんとしている子、授業中、今一つ学習に向かえていない子等はいませんか。少し立ち止まってクラス内を見てみましょう。

～実態把握の視点～

○学習面のつまずきはどこから？

例：書くことが苦手？読むことが苦手？

注意の持続が難しい？指示が伝わりづらい？

○コミュニケーションのつまずきはどこから？

例：言葉で相手に伝えることが難しい？

ルールが理解できていない？



つまずきの背景を、学年の先生方や特コの先生と複数の目で探り、支援方法を考えましょう。引き継いだ「**支援情報**」があれば参考になります。

どの子も私のクラスの一員！

みんなで作る「学級の約束」

ピカピカ笑顔で入学・進級した子どもたち。みんなの声と心が通い合う学級にしたいものです。

しかし、話を聞かなければならない場面で、しゃべってしまう子どもはいませんか。注意をすれば少しは我慢できるけれどなかなか続かず、注意を繰り返してしまうという悪循環も。

おしゃべりを我慢できない子どもは、どうしてもしゃべりたいことを思い出したのかもしれませんが。こんな時、どんな工夫をされますか。

例えば、子どもがしゃべり始めた時に注意から入るのではなく、その子に目を合わせて共感をしてから注意をすると、子どもの安心につながることがあります。また、「みんなの話を楽しく聞くにはどうしたらいいか」というテーマで話し合えば、押し付けではなく、子どもたち自身で約束を考えてみることもできそうです。

…昨年度の「笑顔集まる学級づくり」No.1も参考にしてください。



<中学校>

知ることが関係づくりの第一歩

教科担任をしている授業では分かりにくい生徒の様子を、いろいろな場面で知ることから関係づくりを始めましょう。

【空き時間や休み時間】

生活記録を読むことや提出ノートの確認などを生徒のいる場所で行うと、いつもと違った一面を見ることができます。



【給食時間】

グループに入って給食を食べると、会話の中から興味や関心、友との関わり、学校外での生徒の一面などを知ることができます。

【部活動など】

部活動や地域貢献などでの活躍の様子を見ると、学級内とは違った生徒の新たな一面を発見できます。



みんなで作る学級目標

～目指す姿を仲間と共有する～

生徒が、学級目標を決めて、取り組んでいくのに以下の視点でも話し合ってみたらどうでしょう。



まず、学級目標は何のためか、本当に必要かを子どもたちと一緒に考えてみましょう。



1年後の3月にクラスがどういう状態になっていたいか、具体的な姿を思い描いて、クラスで大切にすることを話し合ってみましょう。



学級目標を実現するのに、具体的にどう行動すればよいか、生活にどう生かしていくか考える場面を設けましょう。

